

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	・PDCAサイクルにもとづいた定期的な介護計画見直しが明確になる、ファイルの整備が望まれる。 ・担当者会議の際は、利用者・家族の意向、主治医等の関係者の意見を反映した検討を議事録に記録することが望まれる。	計画書に現状のご本人の様子・気持ちがしっかり反映されているものであるようにして、関わりものすべての人が周知できる体制にする。	ケアマネジャーが中心となって計画作成者と連携をとり、ルール作りを行い確認しながら会議を進めていきファイルリングをしていく。	6ヶ月
2	4	入居後に把握した内容を「補助シート」に追記する等、情報を蓄積して職員間で共有し、介護計画や日々の個別支援に反映できるよう検討してはどうか。	入居後の生活のご様子を職員が共有でき、個別支援をしていくようにする。	介護ソフト「ほのぼの」に日頃の様子をケースで記録を残していき共有して、介護等で支援をかんがえていく。	6ヶ月
3	23	・運営推進会議の議事録ファイルを設置する等、公開することが望まれる。 ・利用者も構成委員であることから、集合開催の再開後は、参加可能な利用者の短時間参加を検討してはどうか。	運営会議推進会議が参加者だけのものではなく、ご本人・ご家族様や地域のかたも参加していただけるように努める。	広く意見がよいご意見箱の設置考え、その横には議事録を置くようにする。 入居者代表の方を運駅会議参加していただく。	12ヶ月
4	35	訓練手順は作成されているが、実施状況や評価・課題等を記録した訓練実施報告書も作成し、参加できなかった職員に回覧等で周知することが望まれる。	安全・安心に避難できるようにスタッフはしっかり把握できるようにする。	避難訓練後に振り返りの場をもうけて、問題点や疑問点がないか確認し、避難方法について回覧を行う。	12ヶ月
5	8	「認知症ケア」研修に取り入れる等、職員が権利擁護に関する制度について学ぶ機会を設けることが望まれる。	介護スタッフが権利擁護に関する制度を学んでいけるようにしていく。	研修の項目に追加するようすることと、パソコンやスマホで学べるソラスクールをみてもらえるようにすすめていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。